



宮城県志津川高等学校 自然科学部

宮城県本吉郡南三陸町志津川字廻館92番2

八幡川河口干潟の生物調査



干潟調査の様子

Action

2018年10月、志津川湾は、国際的に重要な湿地を保全する「ラムサール条約湿地」に登録され、その最奥部に八幡川河口干潟は位置する。この干潟は東日本大震災の津波によって防潮堤が壊され、公園だった場所に形成された。この場所は巨大防潮堤により埋め立てられる予定だったが、住民の強い要望により防潮堤が陸側に移され、守られることになった。地域住民の思いが詰まった特別な干潟に、どのような生きものが生息しているのか、また、防潮堤工場の影響を評価するため2017年から調査が始まり、狭いエリアで、かつ比較的新しい環境に、多くの生物が見つかる生物多様性の高い干潟であることがわかった。

しかし、昨年1月、導流堤工事のため八幡川の河川水が出入りしていた隙間部分が埋め立てられ、河川水の供給が絶たれた。干潟の汽水環境が維持できなくなり、生物への影響が心配される。そこで、モニタリング調査を継続して行い、導流堤工事の影響評価をすることにした。